

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	バックアップ粒剤
会社名	協友アグリ株式会社
住所	〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町6番1号 山万ビル11階
担当部門	普及・マーケティング部
電話番号	03-5645-0706
FAX番号	03-3639-5299
メールアドレス	info@kyoyu-agri.co.jp
WEBサイト	https://www.kyoyu-agri.co.jp/
推奨用途	農薬（緑地管理用除草剤）
使用上の制限	農薬登録内容以外の使用は不可

2. 危険有害性の要約

GHS分類

(物理的及び化学的危険性)

爆発物	分類対象外
可燃性又は引火性ガス	分類対象外
エアゾール	分類対象外
支燃性又は酸化性ガス	分類対象外
高压ガス	分類対象外
引火性液体	分類対象外
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外
自然発火性固体	区分外
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類対象外
酸化性液体	分類対象外
酸化性固体	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外
金属腐食性化学品	分類できない

(健康に対する有害性)

急性毒性：経口	区分外
急性毒性：経皮	区分外
急性毒性：吸入（気体）	分類対象外
急性毒性：吸入（蒸気）	分類できない
急性毒性：吸入（粉じん）	分類できない
急性毒性：吸入（ミスト）	分類対象外
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	区分外
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	区分外

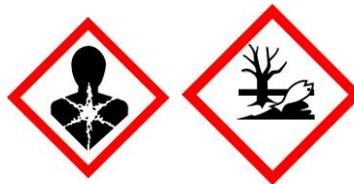
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分外
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分1 A
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	区分1 (呼吸器系)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	区分1 (呼吸器系、腎臓)
吸引性呼吸器有害性	分類できない

(環境に対する有害性)

水生環境有害性 (急性)	区分2
水生環境有害性 (長期間)	区分1

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語	危険
危険有害性情報	発がんのおそれ 呼吸器系の障害 長期にわたる、又は反復ばく露により呼吸器系、腎臓の障害 水生生物に毒性 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性
注意書き 安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。 粉じん、煙、蒸気を吸入しないこと。 取扱い後手をよく洗うこと。 必要な時以外は、環境への放出を避けること。
応急措置	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡し、診断、手当を受けること。 気分が悪い時は、医師の診断、手当を受けること。 漏出物を回収すること。
保管	施錠して保管すること。
廃棄	内容物、容器を法、条例に従って廃棄すること。

3. 組成、成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
有効成分化学名	3-(3,3-ジメチルピロリド)フェニルターシャリーブチルカバマート (IUPAC)
一般名	カルブチレート
化学特性	C ₁₄ H ₂₁ N ₃ O ₃ (分子量 279.3)

成分及び含有率 (成分)	(含有率)	(CAS 番号)	(官報公示整理番号)	
			(安衛法)	(化審法)
カルブチレート	4.0 %	4849-32-5	—	(3)-2201
鉱物質微粉等 <安衛法通知対象物質>	96.0 %	—	—	—
シリカ (石英)	8.0～16.0 %程度	14808-60-7	既存物質	(1)-548

4. 救急措置

吸入した場合	被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。
皮膚に付着した場合	多量の水と石鹸で洗うこと。 皮膚刺激又は発疹を生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぎ、無理に吐かせない。医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤	水、粉末消火剤、二酸化炭素、泡消火剤など
火災時の措置に関する特定の危険有害性	燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等が含まれる。
消火を行う者の保護	適切な保護具を着用する。
消火時の注意	濃厚な廃液が河川などに流入しないように充分注意する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具及び緊急時措置	漏出時の処理作業には、保護マスク、ゴム手袋等適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	濃厚な廃液が河川などへ流入しないように十分注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	本剤が床面などにこぼれた場合は、直ちに掃き取り、空容器に収納する。

7. 取扱い及び管理上の注意

取扱い	
局所排気・全体換気	換気設備のあるところで取り扱う。
安全取扱い注意事項	容器の破損や容器からの漏洩に注意する。
接触回避	吸い込んだり皮膚や眼に触れないよう、長袖の作業衣、保護手袋、保護マスク、保護眼鏡を着用して、できるだけ風上から作業する。
保管	
安全な保管条件	施錠して保管すること。 適当な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管する。 食品や飼料から離しておくこと。
安全な容器包装材料	詳細は製品のラベルに従うこと。

8. ばく露防止措置

設備対策

粉じんが作業場の空気を汚染しないように、局所排気装置の設置、設備の密閉化、又は全体の換気を適正に行うことが望ましい。取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置すること。

許容濃度

日本産業衛生学会で未設定

保護具

呼吸器用保護具

防じんマスク、又は簡易防じんマスク

手の保護具

ゴム手袋

眼の保護具

側板付き普通眼鏡型又はゴーグル型保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具

適切な作業衣・安全靴

特別な注意事項

この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

外観

類白色細粒

臭い

データなし

pH

6.93 (20.0 g/80 mL水溶液)

引火点

データなし

比重(見掛け比重)

0.95

溶解度

データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

通常取り扱いでは反応性なし。

化学的安定性

熱、酸、光に安定。

危険有害な分解生成物

燃焼ガスには、一酸化炭素、窒素酸化物等が含まれる。

11. 有害性情報

急性毒性 経口 LD50

>5,000 mg/kg (雌雄ラット、雌雄マウス) (区分外)

経皮 LD50

>2,000 mg/kg (雌雄ラット) (区分外)

吸入 LC50

データなし(分類できない)

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

刺激性あり(ウサギ)(GHS分類基準以下であり区分外)

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

刺激性あり(ウサギ)(GHS分類基準以下であり区分外)

呼吸器感作性

データなし(分類できない)

皮膚感作性

陰性(モルモット)(区分外)

生殖細胞変異原性

データ不足(分類できない)

発がん性

区分1Aのシリカを0.1%以上含有する(区分1A)

生殖毒性

データ不足(分類できない)

特定標的臓器毒性(単回ばく露)

区分1(呼吸器系)のシリカを10%以上含有する(区分1)

特定標的臓器毒性(反復ばく露)

区分1(呼吸器系、腎臓)のシリカを10%以上含有する(区分1)

吸引性呼吸器有害性

データなし(分類できない)

12. 環境影響情報

生態毒性

魚毒性：	コイ	96時間 LC50	>1,000 mg/L
その他：	オオミジンコ	48時間 EC50	>1,000 mg/L
	藻類	72時間 ErC50	>3.2 mg/L
		72時間 NOECr	0.10 mg/L

上記の結果から、水生環境有害性(急性)を区分 2、水生環境有害性(長期間)を区分 1 とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物の廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

空容器、空袋、汚染容器等の処理は、内容物を完全に除去し、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(施行令第6条)等の関連法規ならびに地方自治体の規則を遵守し、適切に行うこと。

これらの処理を委託する場合は、所轄の地方自治体の許可を得た一般(或いは、特別管理)産業廃棄物業者と契約を結んだ上、処理を委託すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連番号(UN No.)	3077
品名(国連輸送品名)	環境有害性物質(固体)、他に品名が表示されていないもの
国連分類	クラス 9
容器等級	III
輸送の特定の安全対策及び条件	容器が破損しないように、水ぬれや乱暴な取扱いを避ける。
応急措置指針番号	171

15. 適用法令

農薬取締法	農薬登録 第19296号
労働安全衛生法	シリカ：57条の2 通知対象物質 粉じん障害予防規則(ただし、該当する粉じん作業がある場合)
じん肺法	じん肺法施行規則(同上)
作業環境測定法	(同上)

16. その他の情報

参考文献：カルブチレート原体MSDS(株式会社エス・ディー・エス・ハイテック)

- ・危険・有害性の情報及び評価は必ずしも充分ではないので、取扱いには充分ご注意願います。
- ・記載の注意事項は通常の実施を前提とした参考情報です。取扱いの際は用途に適した安全対策を実施のうえご利用ください。
- ・記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいており、新しい知見、法令の改正等により改訂されることがあります。
- ・記載内容は、情報提供であって保証内容ではありません。